

Sustainable Report No.144

# 水とファッションの 不透明な関係性



**Satisfactory**

## ■ コットン栽培が水環境に与える影響

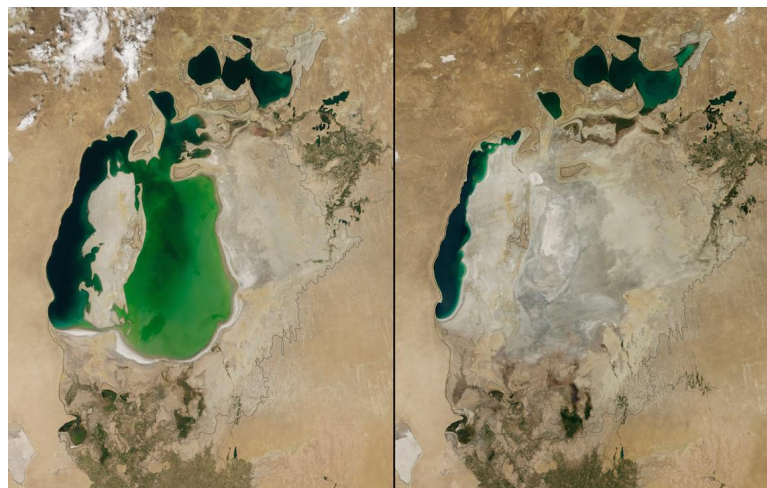
- **コットンは農作物の中でも最も多くの水を必要とする**といわれ、例えばTシャツ1枚の生産には2,720ℓもの水が使用される。
- 綿花の栽培は、**水資源の激減や枯渇のリスクが高い地域に集中**している。
- 持続可能性に配慮しない水資源計画によって、綿花栽培世界第4位の「アラル海」は10分の1にまで干上がってしまった。

## ■ 水リスクの高いエリアで栽培されるコットン

農産物	%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
綿	57%										
小麦	43%										
トウモロコシ	35%										
柑橘類	33%										
サトウキビ	31%										
米	29%										
菜種	26%										
大豆	19%										
天然ゴム	14%										
オーツ麦	13%										
コーヒー	10%										
ココア	5%										
油ヤシ	5%										

出典: WWF『コットンって環境に悪い？  
サステナブルファッション視点でのコットンの生産と利用』

## ■ アラル海の衛星写真(左2000年→右2014年)



出典: BUSINESS INSIDER『大量の水の使用、そして85%はゴミに…  
ファッション業界は環境へ大きな影響を与えている』

## 生産背景の情報開示を求める動きへ

## ■ トレーサビリティで服の背景にある物語を知る

- 2006年、アメリカの非営利団体テキスタイル・エクステンジによって、**繊維製品が正しくオーガニックであることを保証する世界共通の基準**として認証マーク「◎GOTS」が設けられた。
- 今までは環境や人権配慮をされた商品を買いたくても知るすべがなかったが、認証制度を作ることで**生産背景のトラッキングが可能**になっており消費者が自分の意志で選択出来る
- 認証取得には費用がかかり服の生産コストが増すため、価格転嫁と消費者理解が課題となる。

## ■ 日本で消費された繊維製品の生産によるWF

種類	輸入量 (t)	WF (百万 m3)			
		原材料生産	加工・製品生産	合計	
綿	148,276	1,404	74	1,478	
羊毛	19,577	50	9	60	
絹	1,872	110	1	111	
人造・合成繊維	400,788	-	19	19	
衣類 及び	綿	363,606	3,442	182	3,624
	羊毛	20,884	54	10	64
衣類 附属 品	人造・合成 繊維	590,544	-	28	28
計	1,545,546	5,060	324	5,384	

出典: WWFウェブサイト「日本が世界の水環境に及ぼす影響を明らかにする「ウォーターフットプリント」

## ■ オーガニックコットン認証「◎GOTS」



一定条件以上の生産背景である事が認証マークで確認出来るため、消費者の意志で選べる。

出典: WWFウェブサイト「コットンって環境に悪い？サルテナブルファッション視点でのコットンの生産と利用」

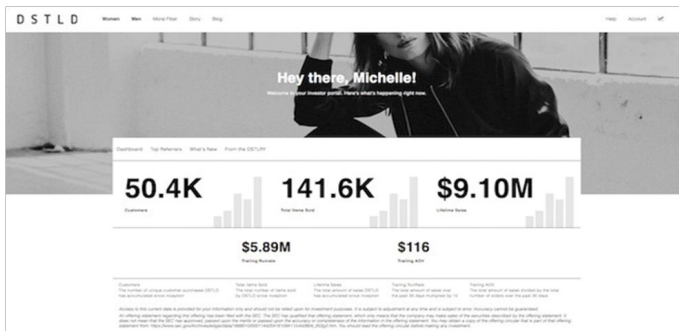
## 支払った金額は適正か、そのお金は何に使われているのか

## ■ 消費者も服の背景に目を向け始めた

- アパレル業界では消費者が高品質で安価な購買に慣れてしまったため、メーカーは**原価や価格を上げることに高いハードル**を感じている。
- 消費者に売上や今後の計画を**開示することで資金調達や収益向上に繋げる**例もあり、環境配慮を表す生産背景も消費者に選ばれる理由となるのではないか。
- 良い情報ばかりでなく、改善を前提としたありのままの状況を伝えることが信頼を得る。消費者のSNS運動をヒントに、**業界全体が繋がって生産背景を誠実に発信する機会**が求められる。

## ■ オンラインファッションスタートアップDSTLD

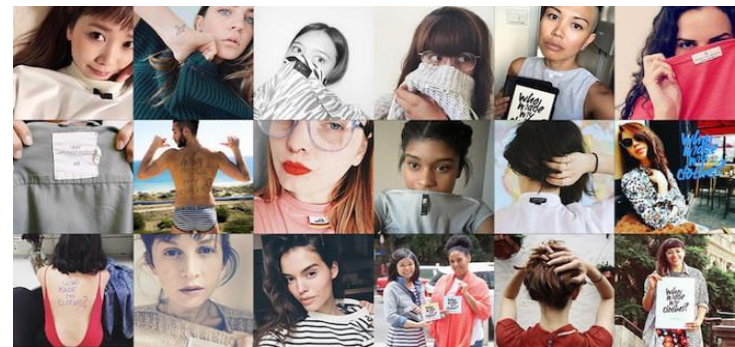
クラウドファンディングでファンから資金調達し、人道的な生産の高品質な商品を、デジタルプラットフォームで販売。



出典: FASHONSNAP.COMウェブサイト「アパレル業界が挑む新たな変革、消費者がブランドに求める“透明性”とは？」

## ■ #whomademyclothesキャンペーン

2013年ラナ・プラザ倒壊事故を機に、民間団体 fashion revolutionは衣類生産の非人道的な労働の改善を訴える。



出典: FASHONSNAP.COMウェブサイト「アパレル業界が挑む新たな変革、消費者がブランドに求める“透明性”とは？」

## 服が出来るまでの背景が価値を持つ世の中に

## ■ 参照・引用資料

- WWF,「コットンって環境に悪い？サステナブルファッション視点でのコットンの生産と利用」,2021年3月12日 (URL:<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/4580.html>)
- BUSINESS INSIDER,「大量の水の使用、そして85%はゴミに…ファッション業界は環境へ大きな影響を与えている」,2019年10月22日 (URL:<https://www.businessinsider.jp/post-200862>)
- WWF,「日本が世界の水環境に及ぼす影響を明らかにするウォーターフットプリント」,2021年3月23日 (URL:<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/4586.html>)
- FASHONSNAP.COM,「アパレル業界が挑む新たな変革、消費者がブランドに求める“透明性”とは？」,2018年03月09日 (URL:<https://www.fashionsnap.com/article/2018-03-09/fashionindustry-transparenc/>)

## ■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先: [info@sfinter.com](mailto:info@sfinter.com)



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『**KIZUNA ESD**』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

### — サステナブルレポートとは？ —

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で  
毎週更新中